

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら一む湯川		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 15日		～ R6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		～ R6年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	研修参加や同系列のさくら一むで児童発達支援児童の対応や療育活動について学ぶ姿勢	現在、児童発達支援児童の通所はありませんが、積極的な研修参加、施設内研修を行っており、今後児童発達支援児童が通所スムーズに通所できるような療育環境を整備しています。	引き続き研修参加などを行い職員の研鑽に励む
2	さくら一むの活動を外部の方へ向けた発信	現在、児童発達支援児童の通所はありませんが、夏祭りや発表会のイベント時には外部の方や関係機関の方などを招きさくら一む療育内容を目にしていただく機会を設けています。	季節ごとのイベント活動等、利用児童が参加しつつ外部の方も、さくら一むの活動を知っていただく機会を設けていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、児童発達支援児童の通所は無く児童発達支援の情報は発信しておりませんが、児童発達支援向けの療育内容を情報として発信していくことも必要と思われます。	利用希望のお問い合わせも来ることがありますが、同年代のお友だちとの関りを希望されるご相談も多く、現在利用児童がいないことが多くあります。	SNS等を通じた発信を行い、児童発達支援児童も療育を安心して学べる施設であることを周知できるように努めていく
2			
3			